

新たな県立高校将来構想 答申(中間案) の構成

第1章 新たな県立高校将来構想の策定

現将来構想に基づく高校教育改革の取組みとその評価及び今回新たに策定する県立高校将来構想の位置づけを明示

1 本県の高校教育改革の取組状況

- 平成13年3月に平成13年度から平成22年度までを計画期間とする県立高校将来構想を策定し、各種の高校教育改革を実施
- 現将来構想に基づく高校教育改革の各取組に対し県民意識調査では、全体としてはおおむね肯定的に評価

2 新たな県立高校将来構想の位置づけ

- 平成23年度から平成32年度までの10年間を計画期間とした現将来構想を引き継ぐもの
- 今後の高校教育改革の方向性及び高校の整備改編の方針を示すもの

第2章 本県の高校教育を巡る現状と課題

近年の高校教育を巡る国レベルの課題と現状及び本県の独自の課題を明示

1 社会経済環境の変化

- 知識基盤社会の到来
- 若年層の目的意識の希薄化
- 家庭・地域の教育力の低下
- 分権型社会の進展と厳しい財政状況
- 少子化の進行

2 県立高校の現状と課題

- 高校教育を巡る国の動き
- 義務教育と大学高等教育とをつなぐ高校教育
- 教育に対する社会の要請への対応
- 生徒数減少と学校規模の縮小

第3章 今後の県立高校教育の在り方

社会経済の変化や高校教育に対する社会的要請などを踏まえ今後の県立高校教育の在り方を提示

1 本県高校教育における人づくりの方向性

- 時代を生き抜く力の育成
- 人と関わる力の育成

2 高校教育改革の取組の方向性

(4つの重点)

- 学力の向上
—学び続けるための基礎力づくり
- キャリア教育の充実
—社会への貢献と自己実現を目指して
- 地域のニーズに応える高校づくりの推進
—地域とともに生きる高校づくり
- 教育環境の充実、学校経営の改善
—少子化時代における魅力ある高校環境づくり

(教育内容)

(教育環境)

第4章 社会の変化に的確に対応した学科編成・学校配置の考え方

生徒数減少や産業構造の変化など様々な社会変化に的確に対応しながら、第3章で提示した取組を進めていくため学科の在り方や学校配置の考え方を提示するとともに、地区別の県立高校再編の方向性を提示

1 学科等の在り方

- 全日制課程
 - ①普通科
 - ②専門学科（職業系学科）
 - ③専門学科（職業系学科以外の学科）
 - ④総合学科
- 定時制課程
- 通信制課程
- その他の学科・学校等
 - ①中高一貫教育校
 - ②単位制高校
 - ③総合産業高校

2 学校配置の考え方

- 機会均等への配慮
- 活力維持や教育機能を十分発揮し得る学校規模
- 地域との関わり
- 市立高校・私立高校との適切な役割分担
- 小規模校の対応

3 地区別の県立高校再編の方向性

- 南部地区
- 中部地区
- 大崎地区
- 栗原地区
- 登米地区
- 石巻地区
- 本吉地区

第5章 将来構想の推進

新将来構想の着実な推進に向けて、高校教育改革に重要な家庭・地域との連携について言及するとともに、実施計画策定の必要性とその適正な進行管理の考え方について提示

1 家庭・地域社会への期待

- 役割分担の明確化と連携促進
- 家庭の教育力向上に向けて
- 地域の教育力の活用に向けて

2 適正な進行管理

- 実施計画策定の必要性
- 適正な進行管理